

■質問

S造・H形鋼大梁において、ウェブを曲げ耐力に考慮する(しない)の設定方法を、教えてください。

■回答

設定方法は 許容応力度計算・保有耐力計算 とで異なります。

[許容応力度計算]

メインメニュー・計算条件 → ツリーメニュー・個別計算条件・S梁 → 「S梁計算条件」
 → 中段部分の項目「曲げ耐力へのウェブの考慮」で 考慮する(しない)等を選択 →
 保存 → 閉じる

※上記において全ての部材について条件が共通であればこの段階で終了ですが、一部の梁について条件を変えたい場合は左上のGS:□に2~の計算条件番号を入力し、条件を選択後、大梁に計算条件番号を配置する必要があります。(下図参照)

条件配置方法を下記に示します。なお条件配置は計算条件番号2~を対象にします。

平面入力・Zn クリック → 断面計算用データ → 「断面計算用データ」平面表示 →
 梁符号右クリック → S梁計算条件 → 「S梁計算条件」ダイアログ表示 → 計算
 条件番号入力 → OK ボタン (下図参照)

[保有耐力計算]

メインメニュー・計算条件 → ツリーメニュー・共通計算条件 → 「部材耐力式」 →
 中段部分の項目「梁曲げ耐力への鉄骨ウェブの考慮」で 考慮する(しない)を選択 →
 保存 → 閉じる

(参考図)

(条件を追加する場合は2~の番号を入力し、
 条件を選択し保存ボタンをクリック)

S梁計算条件

GS: (追加及び修正したい計算条件番号)

S梁

フランジ断面欠損: 端部: なし あり 継手: なし あり

ボルト軸径 (mm):

局部座屈の有無: 可能性なし 可能性あり

曲げ耐力へのウェブの考慮: 考慮する 考慮しない 端部は考慮せず他は考慮する

[「S梁計算条件」ダイアログ]

S梁計算条件

梁計算条件番号

(条件番号1は、全部材を計算
 する場合の省略時の条件と
 なります)

キャンセル OK